

2026 年度アルコール・薬物依存関連学会合同学術総会

**The 1st Congress of Asia-Pacific Society of Harm Reduction and Addiction** (第 1 回アジア環太平洋嗜癖とハームリダクション学会学術総会)  
協賛募集のご案内

第61回日本アルコール・アディクション医学会学術総会  
会長 白坂 知彦 (手稲渓仁会病院 精神保健科 部長)

第48回日本アルコール・嗜癖関連問題学会  
会長 芦澤 健 (千歳病院 院長)

**The 1st Congress of Asia-Pacific Society of Harm Reduction and Addiction**  
会長 宮田 久嗣 (東京慈恵会医科大学 精神医学講座 客員教授・平川病院 副院長)

## 目次

ご挨拶…|

開催概要…4

収支予算書…10

寄付金 募集要項…11

共催セミナー 募集要項…12

広告掲載 募集要項…14

企業展示/書籍展示 募集要項…16

## ご挨拶

時下、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

このたび、2026年10月9日(金)より11日(日)までの3日間、札幌コンベンションセンターにて、アルコール・薬物依存関連学会合同学術総会を開催いたします。第61回日本アルコール・アディクション医学会大会長を拝命いたしました、手稻渕仁会病院 精神保健科の白坂知彦と申します。皆さんには日頃より本学会の活動に多大なるご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

北海道での開催は2019年以来、7年振りとなります。また、本会は2年ぶりの第48回日本アルコール・嗜癖関連問題学会(芦澤健会長)との合同開催として企画検討を進めております。さらに、学会期間中の10月10日には、東京慈恵会医科大学精神医学講座・平川病院の宮田久嗣先生を大会長、博友会平岸病院・札幌医科大学名誉教授の齋藤利和先生を顧問として、The 1st Congress of Asia-Pacific Society of Harm Reduction and Addictionとしてアジア・環太平洋領域のハームリダクションをテーマとした国際大会も同時開催されます。

2026年度学術総会は「引き継がれる依存症治療～変わっていくこと、変わらずにいたいこと～」をテーマといたしました。

依存症治療の現場は、科学的知見や社会の価値観の変化とともに、日々進化を続けています。診断基準や治療法、支援制度、地域連携のあり方など、時代とともに「変わっていくこと」は数多くあります。一方で、長年にわたり培われてきた臨床の知恵や、回復に携わる支援者の姿勢、そして当事者の語りがもつ力は、今なお治療の核を成しています。日本の依存症研究・臨床は、今まさに、過去に依存症治療を築き上げてきた、先代の知恵を新しい世代が更に実らせていく転換期を迎えています。本大会では、時代や世代とともに「変わっていくこと」と「変わらずにいたいこと」を丁寧に見つめ直し、未来の依存症医療と支援のあり方を共に考えてまいります。本学術総会では、全国から基礎・心理・医療・福祉・司法・教育・当事者支援など多領域の専門職が一堂に会し、実践と研究の橋渡しを図る貴重な機会となると確信しております。

本来、学術会議の運営につきましては、諸経費の適正な使用と節約を原則として、参加費等の自己資金で賄うべきところではございますが、経済状況の厳しい昨今、学術総会の目的を達成するためには諸費用の不足が見込まれております。つきましては甚だ恐縮ではございますが、開催の趣旨をご理解いただき、何卒ご高配賜りますようお願い申し上げます。なお、ご協賛いただきました共催費につきまして、各社が公表することについて了承いたします。末筆ではございますが、皆様の今後益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

2026年1月吉日

第61回日本アルコール・アディクション医学会学術総会  
会長 白坂 知彦  
(手稻渕仁会病院 精神保健科 部長)



## ご挨拶

時下、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

この度、第 48 回日本アルコール・嗜癖関連問題学会を 2026 年 10 月 9 日(金)～11 日(日)の 3 日間、札幌コンベンションセンターにて開催させて頂くこととなりました。第 61 回日本アルコール・アディクション医学会学術総会(会長 白坂知彦)と共に 2026 年アルコール・薬物依存関連学会合同学術総会として、また The 1st Congress of Asia-Pacific Society of Harm Reduction and Addiction(会長 宮田久嗣、顧問 齋藤利和)と共同開催いたします。我が国の依存症・アディクション問題は多岐にわたります。話題になることや、時事問題となることも少なくありません。様々な分野や領域の知の集結が必要となってきています。

飲酒問題は健康障害としてすそ野が広がる方向にあります。アルコール依存症を断酒という取り組みだけでなく、減酒が目標となる選択が出てきました。また高齢者の飲酒問題、特に未治療の依存症、認知症の併発をどう対応するかが課題です。薬物では、繁華街で若者が処方・市販薬過剰摂取している情報が SNS 等によって拡散し、地方都市でも同様の過剰摂取を繰り返す問題が出現してきました。ネット上で様々な薬物の購入が可能となっています。SNS 等による情報拡散が薬物問題の傾向を変えていくかもしれません。オンラインゲームの問題が、若年者や発達障害と関連して新たなアディクションとして対応が迫られています。ギャンブルについてはパチンコ・スロットからネット上の競馬・競輪等が主体となってきています。さらに犯罪であるオンラインカジノが拡がりを見せ、時事問題化しています。ギャンブルの問題は、四六時中アクセスできる携帯によるネットを用いた射幸心を大いに刺激する形態となったため大きく変貌していくかもしれません。最近の依存症・アディクション問題は従来の問題もありますが、新たな形としてネットや SNS とリンクした形で急速に広がっていくかもしれません。

これらの問題は喫緊の課題と考えられます。社会がどのように対応していくか、治療、その後のサポートなどの問題が山積みです。そこで知の集結を鑑み、三学会の共同開催をすることとなりました。我々の学会は主に臨床の最前線にいる医療・心理・福祉等の治療者を中心に当事者との連携をしている学術団体です。全国からの多数の参加者が予定されています。さらに他の 2 学会からの参加から依存症・アディクションの学術的な最先端の研究が報告され、アジア・環太平洋からの参加や発表を募ります。三学会共同開催により、基礎医学・心理・医療・福祉・司法・教育・当事者支援など多領域の多職種が学際的な実践と研究を共有する実りある場となり、新たな方向性が得られればと考えています。

さて、学会の運営について諸経費の適正な使用と節約が原則であり、自己資金で賄うべきところですが、経済状態の厳しい昨今、開催の目的を達成するには、諸費用の不足が見込まれております。つきましては甚だ恐縮ではございますが、開催の趣旨をご理解いただき、ご高配賜りますようお願い申し上げます。

末筆ではございますが、皆様の今後益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

2026 年 1 月吉日

第 48 回日本アルコール・嗜癖関連問題学会

会長 芦澤 健  
(千歳病院 院長)



## ご挨拶

時下、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

2026年10月9日(金)から10月11日(日)の3日間、The 1st Congress of Asia-Pacific Society of Harm Reduction and Addiction(第1回 アジア環太平洋嗜癖とハームリダクション学会学術総会)が、第61回日本アルコール・アディクション医学会学術総会(白坂知彦会長)、第48回日本アルコール嗜癖関連問題学会(芦澤 健会長)との同時開催で札幌コンベンションセンターにおいて開催されます。

Asia-Pacific Society of Harm Reduction and Addictionは、アジア環太平洋地域におけるハームリダクション活動や研究の推進を目的として2026年11月に設立された新たな学会です。ご存知のようにハームリダクション(HR)は、1970年代のヨーロッパでヘロイン乱用者が不潔な注射器を使い回すことでHIVが蔓延したことから、清潔な注射器を配布してHIV感染に歯止めをかけたことで知られています。その後、HRはさまざまに形を変えつつ、その基本的なコンセプトである人権尊重、人間理解、支援実践、偏見排除、問題解決などが評価され、近年は、WHOを始めとして多くの国でアディクションの予防、支援、治療に採用されています。一方で、HRはそれぞれの国や地域における物質使用の状況、文化・宗教的背景、司法・行政のあり方などの影響を受けるため、全世界共通のHRというものは存在しません。これまでには、HRはその先進国である欧米に目が行きがちでしたが、アジア環太平洋の諸国や地域でも、それぞれの事情や風土に応じた取り組みがなされています。たとえば、タイでは、仏教国であることから、その理念を活かしてHRを推進する祭日を作ったり、僧侶がHR活動を熱心に行っているそうです。このような現状を受けて、Asia-Pacific Society of Harm Reduction and Addictionの設立にいたりました。2026年の学術総会が第1回目の開催となります。アジアの隣人たちと、アジアのニーズに合ったHRのあり方について議論をかわし、新しい知識を得ることができればと願っています。

本来ならば総会の開催につきましては、参加費等の自己資金で賄うべきところですが、開催の目的を達成するには、会場設営や総会運営に多額の費用を要し、諸費用の不足が見込まれております。つきましては、厳しい状況の中、甚だ恐縮ではございますが、本総会の開催の意義と事情をご賢察の上、ご高配賜りますよう何卒宜しくお願い申し上げます。なお、ご協賛いただきました共催費につきまして、各社が公表することについて了承いたします。末筆ではございますが、皆様の今後益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

2026年1月吉日

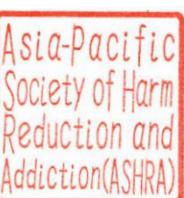
The 1st Congress of Asia-Pacific Society of Harm Reduction and Addiction

会長 宮田 久嗣

(東京慈恵会医科大学 精神医学講座 客員教授、平川病院 副院長)

顧問 斎藤 利和

(博友会平岸病院 名誉院長、札幌医科大学 名誉教授)



## 開催概要

- 1. 会議の名称** 2026年度アルコール・薬物依存関連学会合同学術総会  
The 1st Congress of Asia-Pacific Society of Harm Reduction and Addiction
- 2. 会議のテーマ** 引き継がれる依存症治療～変わっていくこと、変わらずにいたいこと～(国内学会)  
Harm Reduction in the Asia-Pacific Rim(国際学会)
- 3. 会長** 第61回日本アルコール・アディクション医学会学術総会  
会長 白坂 知彦(手稲済仁会病院 精神保健科 部長)  
第48回日本アルコール・嗜癖関連問題学会  
会長 芦澤 健(千歳病院 院長)  
The 1st Congress of Asia-Pacific Society of Harm Reduction and Addiction  
会長 宮田 久嗣(東京慈恵会医科大学 精神医学講座 客員教授、平川病院 副院長)
- 4. 開催日時** 2026年10月9日(金)-11日(日)
- 5. 会場** 札幌コンベンションセンター  
〒003-0006 札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1
- 6. 会議の概要**  
1) 会議の構成 会長講演、特別講演、教育講演、受賞講演、シンポジウム、ワークショップ、一般演題(口頭、ポスター)、市民公開講座、共催セミナー等(予定)  
2) 参加者数 約1,500名(予定)
- 7. お問い合わせ先**  
2026年度アルコール・薬物依存関連学会合同学術総会 運営事務局  
〒060-0001 札幌市中央区北一条西2丁目1 札幌時計台ビル  
株式会社コンベンションリンクケージ内  
TEL:011-272-2151 FAX:011-272-2152  
E-mail:[alcohol2026@c-linkage.co.jp](mailto:alcohol2026@c-linkage.co.jp)

## 第61回日本アルコール・アディクション医学会学術総会

- ◆ 会長 白坂 知彦(手稲済仁会病院 精神保健科 部長)
- ◆ 副会長 中山 秀紀(旭山病院)
- ◆ 事務局 常田 深雪(手稲済仁会病院)
  
- ◆ 準備委員会(敬称略・五十音順)
  - 芦澤 健(医療法人資生会 千歳病院)
  - 池田 和隆(公益財団法人東京都医学総合研究所 依存性物質プロジェクト)
  - 上村 公一(東京科学大学大学院 医歯学総合研究科法医学分野)
  - 神田 秀幸(岡山大学学術研究院医歯薬学域 公衆衛生学)
  - 白石 光一(東海大学医学部付属東京病院 消化器内科)
  - 高田 孝二(帝京大学文学部心理学科)
  - 館農 勝(特定医療法人さっぽろ悠心の郷 ときわ病院)
  - 西谷 陽子(京都大学大学院医学研究科 法医学講座)
  - 原田 隆之(筑波大学人間学群 心理学類人間系)
  - 廣中 直行(メディフォード株式会社)
  - 堀江 義則(医療法人社団 慶洋会 ケイアイクリニック)
  - 宮田 久嗣(東京慈恵会医科大学 精神医学講座、平川病院)
  
- ◆ 組織委員会・プログラム委員会(敬称略・五十音順)
  - 新井 清美(信州大学学術研究院 保健学系)
  - 池谷 博(京都府立医科大学大学院 医学研究科)
  - 池田 和隆(国立精神・神経医療研究センター / 東京都医学総合研究所)
  - 上村 公一(東京科学大学大学院 医歯学総合研究科 法医学分野)
  - 石橋 竜太郎(札幌医科大学医学部神経精神医学講座)
  - 鵜沼 香奈(東京科学大学大学院 医歯学総合研究科 法医学分野)
  - 神田 秀幸(岡山大学学術研究院 医歯薬学域 公衆衛生学)
  - 菊池 真大(用賀きくち内科 肝臓・内視鏡クリニック)
  - 金城 文(鳥取大学医学部医学科 社会医学講座 環境予防医学分野)
  - 木村 充(国立病院機構 久里浜医療センター)
  - 小松 知己(沖縄協同病院)
  - 今 一義(順天堂大学医学部 消化器内科)
  - 佐久間 寛之(国立病院機構さいがた医療センター)
  - 鳴根 頂也(国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部)
  - 白石 光一(ウェルエイジング日本橋クリニック)
  - 菅谷 楠(労働安全衛生総合研究所)

宋 龍平(岡山県精神科医療センター)  
高田 孝二(東京慈恵会医科大学 精神医学講座、帝京大学 文学部心理学科)  
高野 歩(国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部)  
高見 太郎(山口大学大学院 医学系研究科 消化器内科学)  
館農 勝(特定医療法人さっぽろ悠心の郷 ときわ病院)  
中村 幸志(琉球大学大学院 医学研究科 公衆衛生学・疫学講座)  
成瀬 暢也(埼玉県立精神医療センター)  
西谷 陽子(京都大学大学院 医学研究科 法医学講座)  
新田 淳美(富山大学学術研究部 薬学・和漢系)  
原田 隆之(筑波大学人間学群 心理学類)  
廣中 直行(東京都医学総合研究所 依存性物質プロジェクト)  
福原 京子(順天堂大学医学部 消化器内科)  
船田 正彦(湘南医療大学 薬学部)  
堀江 義則(医療法人社団慶洋会 ケイアイクリニック)  
松居 剛志(手稲溪仁会病院 消化器内科)  
松下 幸生(国立病院機構 久里浜医療センター)  
松本 俊彦(国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部)  
松本 博志(大阪大学大学院 医学系研究科 法医学教室)  
宮田 久嗣(東京慈恵会医科大学 精神医学講座、平川病院)  
森 友久(星薬科大学 行動可塑性制御研究室)  
杠 岳文(筑後吉井こころホスピタル)  
和田 清(昭和医科大学 薬学部)

## 第48回日本アルコール・嗜癖関連問題学会

- ◆ 会長 芦澤 健(千歳病院 院長)
- ◆ 副会長 梶浦 章弘(石橋病院)
- ◆ 実行委員長 木村 直友(幹メンタルクリニック)
- ◆ 顧問 田辺 等(旭山病院)  
山家 研司(旭山病院)

- ◆ 実行委員会(敬称略・五十音順)  
飯塚 聰(函館博栄会渡辺病院)  
池田 望(札幌医科大学保健医療学部)  
池田 陽子(旭山病院)  
岩代 純(石橋病院)  
宇野 利文(千歳病院)  
浦田 昇龍(千歳病院)  
岡崎 大介(道立精神保健福祉センター)  
梶浦 章弘(石橋病院)  
川添 千尋(石橋病院)  
河田 祐輔(千歳病院)  
川又 寛佳(千歳病院)  
木村 直友(幹メンタルクリニック)  
木村 充(久里浜医療センター)  
棄内 崇(空知病院)  
小松 知己(沖縄協同病院)  
佐々木 裕司(石橋病院)  
白坂 知彦(手稲渓仁会病院)  
高橋 洋輔(千歳病院)  
館巖 晶子(北海道中標津保健所)  
田中 昭男(千歳病院)  
棚橋 幸野(札幌こころのセンター)  
土田 奈美(道障がい者保健福祉課)  
常田 深雪(手稲渓仁会病院)  
土居 信夫(ウトナイ病院)  
長友 勇樹(江別すずらん病院)  
中山 秀紀(旭山病院)  
波川 明嗣(千歳病院)  
橋本 省吾(旭山病院)

長谷川 直実(大通公園メンタルクリニック)

畠山 陵(旭山病院)

比江島 誠人(向陽台病院)

福場 将太(美唄すずらんクリニック)

松下 幸生(久里浜医療センター)

宮田 友樹(旭山病院)

武藤 岳夫(向陽台病院)

矢野 貴大(旭山病院)

山下 聖子(旭山病院)

山家 研司(旭山病院)

杠 岳文(筑後吉井こころホスピタル)

◆ プログラム委員会(敬称略・五十音順)

池田 望(札幌医科大学保健医療学部)

大河原 昌夫(住吉病院)

梶浦 章弘(石橋病院)

木村 直友(幹メンタルクリニック)

木村 充(久里浜医療センター)

熊谷 雅之(優なぎ会雁の巣病院)

小林 桜児(神奈川県立精神医療センター)

齋藤 利和(平岸病院)

佐久間 寛之(さいがた医療センター)

嶋根 頂也(国立精神神経医療研究センター)

白坂 知彦(手稲渓仁会病院)

辻本 士郎(東布施野田クリニック)

常岡 俊昭(昭和医科大学精神医学講座鳥山病院)

常田 深雪(手稲渓仁会病院)

成瀬 暢也(埼玉県立精神医療センター)

西村 康平(神奈川県立精神医療センター)

比江島 誠人(横田会 向陽台病院)

堀井 茂男(慈圭会 慈圭病院)

松下 幸生(久里浜医療センター)

武藤 岳夫(横田会 向陽台病院)

杠 岳文(筑後吉井こころホスピタル)

米山 奈奈子(秋田大学大学院医学系研究科保健学)

和氣 浩三(和氣会 新生会病院)

# The 1st Congress of Asia-Pacific Society of Harm Reduction and Addiction

- ◆ 会長 宮田 久嗣(東京慈恵会医科大学 客員教授・平川病院 副院長)
- ◆ 顧問 斎藤 利和(札幌医科大学 名誉教授・平岸病院 名誉院長)
- ◆ 事務局長 高田 孝二(東京慈恵会医科大学 精神医学講座、帝京大学 文学部心理学科)  
廣中 直行(東京都医学総合研究所 依存性物質プロジェクト)
- ◆ 運営委員(敬称略・五十音順)
  - Chia-chun Hung (Department of Health Promotion and Education, National Taiwan Normal University (NTNU), Taiwan)
  - Tony Szu-Hsien Lee (Department of Health Promotion and Education, National Taiwan Normal University (NTNU), Taiwan)
  - Woraphat Ratta-apha (Faculty of Medicine, Siriraj Hospital, Mahidol University, Thailand)
  - 太田 順一郎(岡山市こころの健康センター)
  - 白坂 知彦(医療法人済仁会 手稲済仁会病院 精神保健科)
  - 嶋根 卓也(国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部)
  - 徐 淑子(新潟県立看護大学 人間環境科学)
  - 宋 龍平(岡山県精神科医療センター 臨床研究部)
  - 高野 歩(国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部 診断治療開発研究室)
  - 高野 裕治(人間環境大学 総合心理学部総合心理学科)
  - 成瀬 暢也(地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 埼玉県立精神医療センター)
  - 原田 隆之(筑波大学大学院 人間総合科学学術院 人間総合科学研究群)
  - 樋口 進(国立病院機構 久里浜医療センター)
  - 堀江 義則(医療法人社団慶洋会 ケイアイクリニック)
  - 松本 俊彦(国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部)
  - 湯本 洋介(国立病院機構 久里浜医療センター)
  - 吉治 仁志(奈良県立医科大学 消化器内科学講座)
  - 吉本 尚(筑波大学健幸ライフスタイル開発研究センター)

# 收支予算書

## ＜収入の部＞

(単位:円)

項目	数量	単価	金額	摘要
<b>1 参加登録費</b>	<b>1,500 名</b>		<b>19,000,000</b>	
<b>2026年度 合同学術総会</b>				
事前登録				
会員（医師、企業）	200 名	13,000	2,600,000	
非会員（医師、企業）	200 名	15,000	3,000,000	
会員（医療、福祉、保健、介護スタッフ等）	150 名	10,000	1,500,000	
非会員（医療、福祉、保健、介護スタッフ等）	150 名	12,000	1,800,000	
会員（学生、院生、初期研修医、当事者、家族）	40 名	5,000	200,000	
非会員（学生、院生、初期研修医、当事者、家族）	40 名	5,000	200,000	
当日登録				
会員（医師、企業）	90 名	15,000	1,350,000	
非会員（医師、企業）	90 名	17,000	1,530,000	
会員（医療、福祉、保健、介護スタッフ等）	80 名	12,000	960,000	
非会員（医療、福祉、保健、介護スタッフ等）	80 名	14,000	1,120,000	
会員（学生、院生、初期研修医、当事者、家族）	30 名	5,000	150,000	
非会員（学生、院生、初期研修医、当事者、家族）	30 名	5,000	150,000	
<b>1st ASHRA</b>				
Early Bird				
Member	50 名	13,000	650,000	
Non-member	50 名	15,000	750,000	
Pre-/Post-Doctoral Students/Fellows - Member	30 名	10,000	300,000	
Pre-/Post-Doctoral Students/Fellows - Non-member	30 名	12,000	360,000	
<b>STANDARD</b>				
Member	50 名	15,000	750,000	
Non-member	50 名	17,000	850,000	
Pre-/Post-Doctoral Students/Fellows - Member	30 名	12,000	360,000	
Pre-/Post-Doctoral Students/Fellows - Non-member	30 名	14,000	420,000	
<b>2 懇親会費</b>	<b>300 名</b>		<b>2,700,000</b>	
事前登録・当日登録	300 名	9,000	2,700,000	
<b>3 抄録集販売費</b>	<b>300 名</b>	<b>2,000</b>	<b>600,000</b>	
<b>4 共催セミナー費</b>			<b>16,390,000</b>	
ランチョンセミナーA	3 社	1,540,000	4,620,000	
ランチョンセミナーB	3 社	1,320,000	3,960,000	
イブニングセミナーA	1 社	770,000	770,000	
イブニングセミナーB	2 社	660,000	1,320,000	
スポンサードセミナーA	2 社	1,540,000	3,080,000	
スポンサードセミナーB	2 社	1,320,000	2,640,000	
<b>5 展示出展料</b>			<b>1,666,500</b>	
企業展示	10 社	165,000	1,650,000	
書籍展示	1 式	16,500	16,500	売上額の5%
<b>6 広告掲載料</b>			<b>3,261,000</b>	
抄録集：表4	1 件	187,000	187,000	
抄録集：表3	1 件	132,000	132,000	
抄録集：表2	1 件	132,000	132,000	
抄録集：後付 1 頁	20 件	55,000	1,100,000	
抄録集：後付 1/2 頁	20 件	44,000	880,000	
ホームページバナー広告	3 件	110,000	330,000	
スクリーン幕間スライド	10 件	50,000	500,000	
<b>7 補助金・助成金</b>			<b>1,600,000</b>	
日本アルコール・アディクション医学会			1,000,000	
アルコール健康医学協会			600,000	
<b>8 寄付金</b>			<b>3,000,000</b>	
企業・個人・病院			3,000,000	
<b>合計</b>			<b>48,217,500</b>	

## ＜支出の部＞

(単位:円)

項目	合計	摘要
<b>1 事前準備費</b>	<b>19,500,000</b>	
(1)事務局費	4,000,000	
(2)ホームページ作成費	3,500,000	
(3)演題・事前参加登録関連費	5,000,000	
(4)通信運搬費	2,000,000	
(5)印刷・制作費・その他	5,000,000	
<b>2 当日運営費</b>	<b>25,517,500</b>	
(1)会場使用料	3,104,800	
(2)機材・備品関連費	6,500,000	
(3)当日運営人件費	6,000,000	
(4)看板・展示関連費	4,000,000	
(5)料飲関係費	1,412,700	
(6)会議用備品・その他	1,500,000	
(7)招請・接遇費	3,000,000	
<b>3 関連行事費</b>	<b>2,200,000</b>	
<b>4 事後処理費</b>	<b>1,000,000</b>	
<b>合計</b>	<b>48,217,500</b>	

# 寄付金募集要項

## 1. 寄付金の名称

2026 年度アルコール・薬物依存関連学会合同学術総会 寄付金

## 2. 募集期間

2026 年 1 月 6 日(火)より 2026 年 10 月 11 日(日)まで

## 3. 寄付金目標額

3,000,000 円

## 4. 寄付金の対象

一般企業、民間財団、医療機関等

## 5. 寄付金の用途

2026 年度アルコール・薬物依存関連学会合同学術総会の準備、運営および関連諸行事等の費用に充当させていただきます。

## 6. お申込方法

「協賛申込システム」(以下 URL)よりお申し込みください。

<https://www.secure-form.info/lsp/users/login/alcohol2026>

## 7. 寄付金振込口座

お申し込み後、次の銀行口座へ金額のお振り込みをお願いいたします。

### ■2026年度アルコール・薬物依存関連学会合同学術総会

銀行名	北洋銀行(0501)	支店名	手稲中央支店(491)
口座種別	普通預金	口座番号	7235997
口座名義	2026年度アルコール薬物依存関連学会合同学術総会 代表 白坂知彦		
フリガナ	2026ネンド アルコールヤクブ ツイゾンカンレンガ ッカイゴ ウド ウガ クジ ュツソウカイ タ ハヨウ シラサトモヒロ		

### ■The 1st Congress of Asia-Pacific Society of Harm Reduction and Addiction

銀行名	三菱UFJ銀行(0005)	支店名	八王子支店(367)
口座種別	普通預金	口座番号	1068299
口座名義	第1回アジア環太平洋嗜癖とハームリダクション学会学術総会 大会長 宮田久嗣		
フリガナ	タ イイカイアジ アカンタハイエイヨウシヘキトハームリダ クションガ ッカイゴ クジ ュツソウカイ ミヤタヒサツグ		

※振込手数料は貴社にてご負担ください。

※銀行発行の振込控えをもって当方の領収書に代えさせていただきます。

※本寄付金は寄付金控除の対象となりませんのでご了承ください。

## 共催セミナー募集要項

### I. 募集概要(開催日時・共催費等)

#### <ランチョンセミナー>

申込番号	日程		予定会場	予定席数	共催費(税込)
LS-1	10/9(金)	12:10-13:10	特別会議場	500席	1,540,000円
LS-2		12:10-13:10	中ホールA	240席	1,320,000円
LS-3	10/10(土)	12:10-13:10	特別会議場	500席	1,540,000円
LS-4		12:10-13:10	中ホールA	240席	1,320,000円
LS-5	10/11(日)	12:10-13:10	特別会議場	500席	1,540,000円
LS-6		12:10-13:10	中ホールA	240席	1,320,000円

#### <イブニングセミナー>

申込番号	日程		予定会場	予定席数	共催費(税込)
ES-1	10/9(金)	16:40-17:10	小ホール	190席	660,000円
ES-2	10/10(土)	16:40-17:10	特別会議場	500席	770,000円
ES-3	10/10(土)	16:40-17:10	小ホール	190席	660,000円

#### <スポンサードセミナー>

申込番号	日程		予定会場	予定席数	共催費(税込)
SS-1	10/9(金)	13:10-14:40	中ホールA	240席	1,320,000円
SS-2	10/10(土)	13:10-14:40	特別会議場	500席	1,540,000円
SS-3	10/10(土)	10:20-11:50	中ホールA	240席	1,320,000円
SS-4	10/11(日)	10:20-11:50	特別会議場	500席	1,540,000円

※共催費に含まれるものは、会場費、会場付帯設備費(机、椅子、ステージ、音響設備、照明等)、講演機材費(プロジェクター、スクリーン、その他学会手配の講演機材)です。

※座席は全てシアター形式を予定しています。

※席数は予定収容人数であり、設営後、1-2割ほど少なくなる場合もございます。また、プログラム構成の都合上、会場が変更になる場合もございますので、あらかじめご了承ください。

### 2. 会場・日程の決定

申込締切後、講演テーマ、講演者などの内容を考慮し、主催者にて調整の上決定させていただきます。決定前の、登壇者への正式なご依頼はお控えいただきますようお願いいたします。また、会場数には限りがあるため、ご希望に添えない場合もございます。あらかじめご了承ください。

### 3. 注意事項

以下の費用は、前述の共催費に含まれておりません。共催企業様の実費オプションとなります。

- 1) 座長・演者の謝礼、交通・宿泊費
- 2) 食事代: 参加者用弁当(飲料込み)、座長・演者打合せ食事等  
※会場の規定上、外部からのお持ち込みはご遠慮ください。  
※モーニングセミナーは弁当ではなく軽食の予定です。  
※スponサー・セミナーは、参加者向け飲食は手配不要の予定です。
- 3) 人件費: 共催セミナー運営スタッフ(アナウンス係、弁当・資料配布係、照明係、誘導係等)
- 4) 看板・表示物: 会場表示立札(600×900)、座長・演者氏名掲示(300×600)、ポスターおよび共催セミナー案内状(A4チラシ)等の印刷・制作費  
※会場表示立札、氏名掲示は本会統一デザインにて作成のため、外部からのお持ち込みはご遠慮ください。
- 5) 追加機材: 同時通訳、収録、控室の機材等  
※上記2)~5)については、業務管理費(上記の手数料として合計費用の15%)を申し受けます。

### 4. 申込方法

「協賛申込システム」(以下 URL)よりお申し込みください。

<https://www.secure-form.info/lsp/users/login/alcohol2026>

### 5. 申込締切

2026年6月24日(水)

※会場に限りがございますため、セミナー数に達し次第、締め切らせていただきます。

※複数企業との共同開催も可能です。

### 6. 申込取り下げ

申込後は、主催者が不可抗力と認めた場合以外、取り下げることはできません。貴社事由により申し込みを取り下げる場合は、キャンセル料として100%の金額を申し受けますので、予めご了承ください。

## 広告掲載 募集要項

### 1. プログラム・抄録集広告

体裁 A4 サイズ、無線綴じ(左綴じ)

発行日 2026 年 10 月

部数 1,500 部(予定)

作成費 1,900,000 円(予定)

#### 広告掲載料

掲載箇所		色数	募集口数	掲載料(税込)
抄録集	表 4(裏表紙)	カラー	1 口	187,000 円
	表 3(裏表紙裏)	モノクロ	1 口	132,000 円
	表 2(表紙裏)	モノクロ	1 口	132,000 円
	後付 1 頁	モノクロ	20 口	55,000 円
	後付 1/2 頁	モノクロ	20 口	44,000 円

※ページ割付は主催者にご一任願います。

※A4 版タテ型(1/2 頁の場合は A5 版横型)とし、EPS データ(Illustrator、Photoshop も可)でご入稿ください。なお、フォント崩れを防ぐため、文字は必ずアウトライン化をお願いいたします。下記「データ提出先」にある E-mail 宛てにお送りください。

### 2. ホームページバナー広告

規格 縦 100px×横 320px(応相談)、JPEG 形式もしくは GIF 形式(アニメーション不可)

掲載期間 原稿提出後-2027 年 3 月(予定)

掲載料 110,000 円(税込)/1 口

募集口数 3 口

※掲載箇所については、学会側にご一任ください。

### 3. スクリーン幕間スライド

仕様 講演会場のセッション開始前や休憩中にスクリーンへ広告スライド投影

掲載期間 2026 年 10 月 9 日(金)-11 日(日)会期中

掲載料 50,000 円(税込)/1 口

募集口数 10 口

入稿形式 PowerPoint(1 社につき 20 秒程度、音声なし)

サイズ スクリーンサイズ 16:9(予定)

※静止画スライド 1 枚とさせていただきます。

入稿(ホームページバナー広告、スクリーン幕間スライド共通)：

データにてご提出ください。下記「データ提出先」にある E-mail 宛てにお送りください。

#### 4. 申込方法

「協賛申込システム」よりお申し込みください。

<https://www.secure-form.info/lsp/users/login/alcohol2026>

#### 5. 申込締切

2026年7月15日(水) ※版下提出締切は2026年7月29日(水)

※各件とも予定募集口数に達した場合は、期限前でも締め切らせていただきますのでお早めにお申し込みください。

※広告内容が本学会の趣旨にそぐわない場合、掲載をお断りすることもございます。

#### 6. 申込取り下げ

申込後は、主催者が不可抗力と認めた場合以外、取り下げることはできません。貴社事由により申し込みを取り下げる場合は、キャンセル料として100%の金額を申し受けますので、予めご了承ください。

#### 7. データ提出先

2026 年度アルコール・薬物依存関連学会合同学術総会 運営事務局

E-mail: [alcohol2026@c-linkage.co.jp](mailto:alcohol2026@c-linkage.co.jp)

#### 8. その他

希望ページや媒体に多数のご応募があった場合には、僭越ながら内容を検討させていただき、主催事務局が決定し、運営事務局より各出展者へ結果を通知させていただきます。プログラム・抄録集広告の広告主様には、プログラム・抄録集を進呈させていただきます。

## 企業展示/書籍展示 開催要項

### 1. 展示スケジュール(予定)

搬入・設営	2026年10月9日(金)午後(予定)
展示実施	2026年10月9日(金)夕方(予定)
	2026年10月10日(土)8:30-18:00(予定)
	2026年10月11日(日)8:30-14:00(予定)
搬出・撤去	2026年10月11日(日)14:00-16:00(予定)

### 2. 実施会場

札幌コンベンションセンター（〒003-0006 札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1）

### 3. 出展資格

合同学術総会および展示会の趣旨をご理解いただける医療および関連の機器・薬品・試薬、書籍などを製造または取り扱う企業・団体

※展示物等が本会の趣旨にそぐわない場合、出展をお断りすることもございます。

### 4. 小間タイプ・出展料

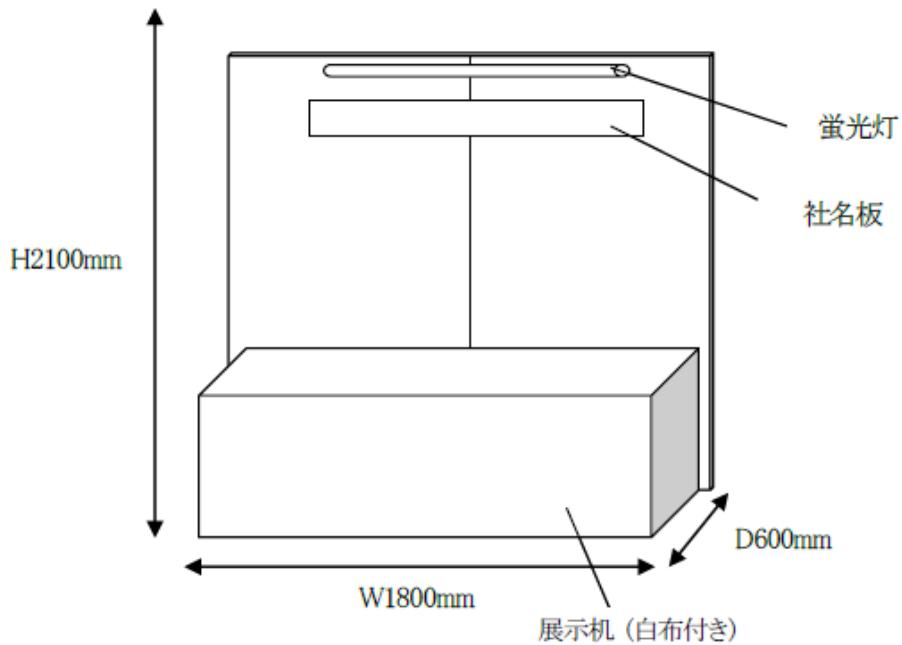
小間タイプ	小間仕様	出展料(税込)	募集小間数
基礎小間	<ul style="list-style-type: none"><li>・全体仕様:W1800mm×H2100mm×D600mm</li><li>・バックパネル:W1800mm×H2100mm</li><li>・社名板(文字のみ、墨1色):W900mm×H200mm</li><li>・展示台:W1800mm×H700mm×D600mm(白布付)</li><li>・蛍光灯</li></ul>	165,000円/小間	10小間
書籍展示小間	<ul style="list-style-type: none"><li>・全体仕様:W1500mm×D600mm</li><li>・テーブルのみ(W1500mm×H700mm×D600mm)</li></ul>	売上額の5%	10小間

※1小間を単位として複数小間のお申し込みも可能です。

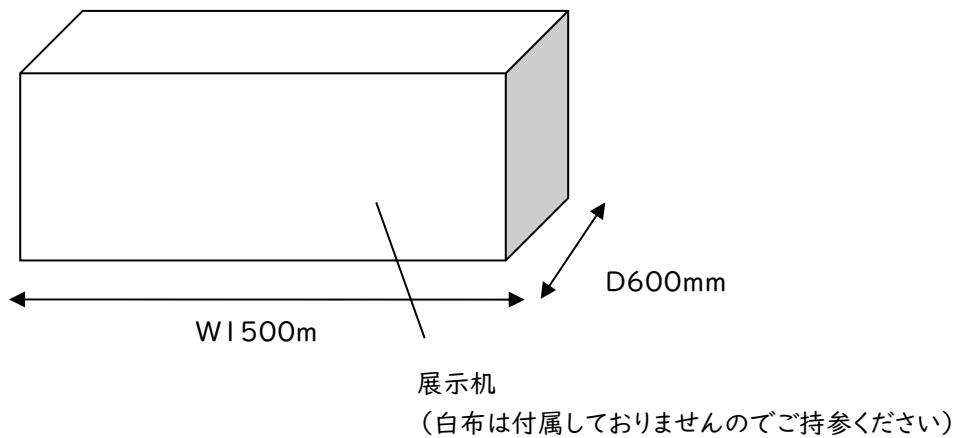
※バックパネルはシステムパネルを使用いたします。

※社名板へのロゴ掲載、コンセント等の電気設備、電気工事、レンタル備品をご希望の場合は、別途料金となります。詳細は後日、運営事務局よりご案内する出展マニュアルにてご確認ください。

## «基礎小間イメージ»



## «書籍展示小間イメージ»



## 5. 申込方法

「協賛申込システム」よりお申し込みください。

<https://www.secure-form.info/lsp/users/login/alcohol2026>

## 6. 申込締切

2026年7月15日(水)

※予定小間数に達した場合は、期限前でも締め切らせていただきますのでお早めにお申し込みください。

## 7. 出展料支払い方法

請求書受領後、請求書発行日より1ヶ月以内に総小間料を請求書記載の口座へお振り込みください。  
なお、会期までにご入金がない場合は、出展を取消とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

## 8. 申込取り下げ

申込後は、主催者が不可抗力と認めた場合以外、取り下げることはできません。貴社事由により申し込みを取り下げる場合は、キャンセル料として100%の金額を申し受けますので、予めご了承ください。

## 9. 小間の割り当てについて

小間の割当ては出展物の種類、小間数・小間構成・実演の有無などを考慮し、申込締切後に主催事務局が決定し、運営事務局より各出展者へ通知いたします。出展者はこの割当てに対する異議申立てはできませんのでご了承ください。また、出展者が主催者の承諾なく、小間の全部または一部の譲渡・交換を行うことはご遠慮ください。

**※各出展物の管理は出展者が責任を負うものとし、盗難・紛失・損傷等について主催者は補償を含めた一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。**

## 指定銀行振込口座

お申し込み、主催者承認後、請求書をお送りいたします。

各種協賛費用のお振り込みは、請求書に記載の指定銀行口座へ、発行日より1ヶ月以内にお振り込みください。

振込手数料は、お申込者負担でお願いいたします。

金融機関発行の振込書控えを持って、領収書に代えさせていただきます。

## 情報公開について

日本製薬工業協会および日本ジェネリック製薬協会「企業活動と医療機関等の関係の透明性ガイドライン」、日本医療機器産業連合会「医療機器業界における医療機関等との透明性ガイドライン」に基づき、「企業活動と医療機関及び医療関係者との関係の透明性に関する指針」に従い、貴社が本学会へ支払う協賛金等について、貴社のウェブサイト等を通じて公開されることに承諾いたします。

## お問い合わせ先

2026 年度アルコール・薬物依存関連学会合同学術総会 運営事務局

〒060-0001 札幌市中央区北一条西 2 丁目 1 札幌時計台ビル

株式会社コンベンションリンクージ内

TEL:011-272-2151 FAX:011-272-2152

E-mail:[alcohol2026@c-linkage.co.jp](mailto:alcohol2026@c-linkage.co.jp)